

専 門 教 養
令 和 4 年 7 月
60分

受 験 教 科 等
高 等 学 校 水 産

## 注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、13ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

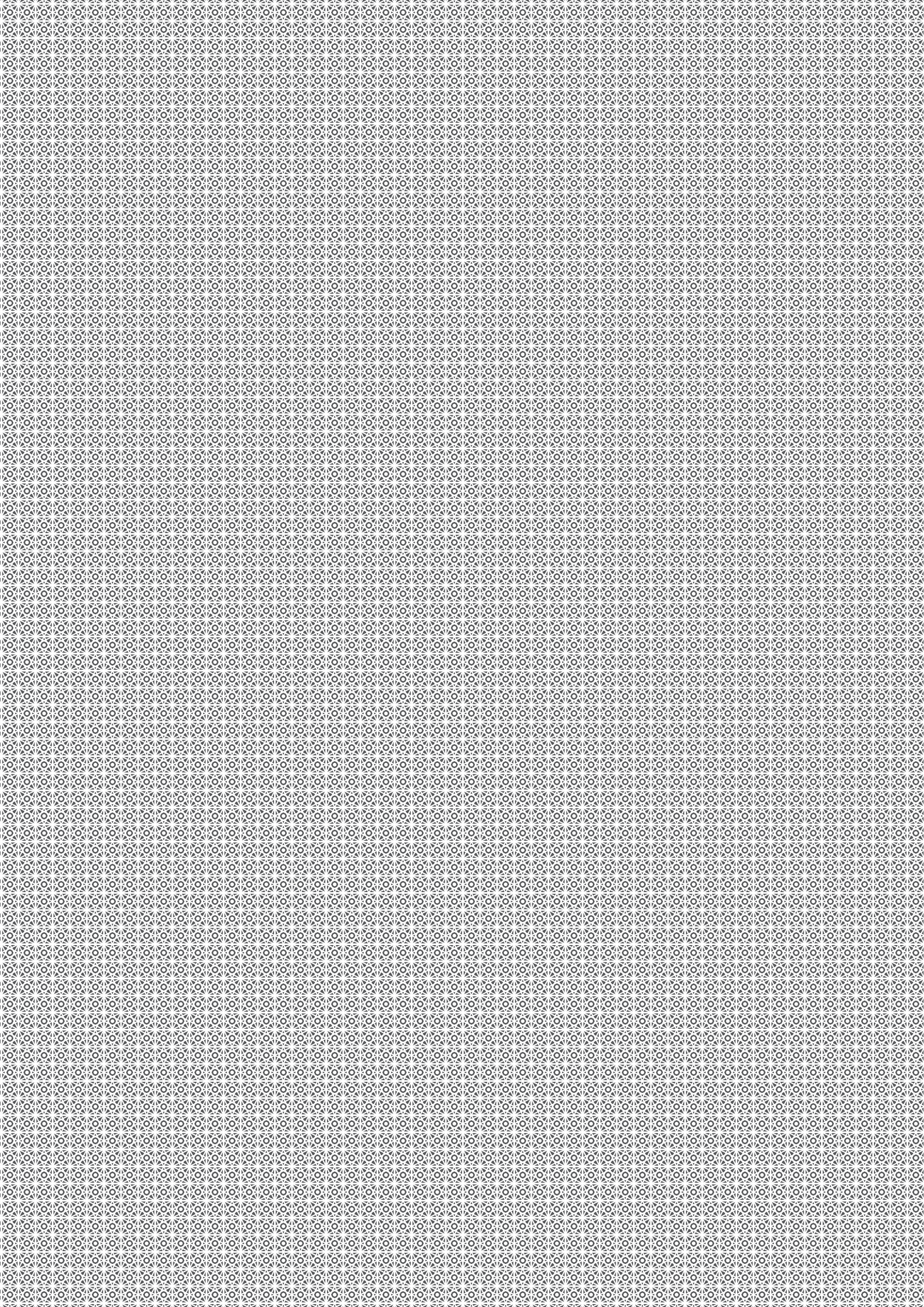
## 解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例1)のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例1)

解答番号	解答欄
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



**1** 学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述は、高等学校学習指導要領水産の「課題研究」の指導項目である。記述中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の **1**～**4** のうちのどれか。解答番号は **1**。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| (1) 調査、研究、実験 | (2) 作品製作     |
| (3) <b>ア</b> | (4) <b>イ</b> |

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| <b>1 ア</b> 海洋に関する探究活動  | <b>イ</b> 職業資格の取得       |
| <b>2 ア</b> 海洋に関する探究活動  | <b>イ</b> 水産や海洋における情報技術 |
| <b>3 ア</b> 産業現場等における実習 | <b>イ</b> 職業資格の取得       |
| <b>4 ア</b> 産業現場等における実習 | <b>イ</b> 水産や海洋における情報技術 |

[問 2] 高等学校学習指導要領水産の「水産海洋科学」の「内容の取扱い」において、配慮するものとされている事項に関する記述として適切なものは、次の **1**～**4** のうちのどれか。解答番号は **2**。

- 「海洋と生活」については、水産業や海洋関連産業及び地域生活における海洋の役割を扱うこと。また、我が国の水産業や海洋関連産業の展望と課題についても扱うこと。
- 「海洋の科学」の「海洋と気象」については、海洋に関する環境情報システム、気象や海象に関するデータ収集や分析などのシステム、船舶運航や管理、通信に関するシステムについて扱うこと。
- 「水産の新しい展開」の「水産業の新しい展開」については、水産物の安定供給並びに付加価値向上の必要性について基礎的な内容に触れること。
- 「海洋に関する探究活動」の「探究活動の進め方」については、操船や漕艇そうていを中心に扱い、地域の実態や学科の特色に応じて、結索、体験乗船、海洋観測、水泳、マリンスポーツなどを扱うこと。

**2**

海洋と環境に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述は、海洋環境に関するものである。記述中の空欄 **ア** ~ **ウ** に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の **1** ~ **8** のうちのどれか。解答番号は **3**。

海洋の温度分布や海流の変化、地球全体の気候変動は水産生物の生息環境に大きく影響する。近年では、南米の東部太平洋沿岸域で発生する周辺海域の海水温が上昇する **ア** 現象により、この海域の **イ** 漁が壊滅的な打撃を受けたり、マグロやカツオ等の大型回遊魚の漁獲量にも影響が現れたりする。また、 **ア** 現象が起きると、我が国では、夏は **ウ** の傾向になる。

- |   |          |        |          |         |          |    |
|---|----------|--------|----------|---------|----------|----|
| 1 | <b>ア</b> | エルニーニョ | <b>イ</b> | カタクチイワシ | <b>ウ</b> | 猛暑 |
| 2 | <b>ア</b> | エルニーニョ | <b>イ</b> | カタクチイワシ | <b>ウ</b> | 冷夏 |
| 3 | <b>ア</b> | エルニーニョ | <b>イ</b> | サンマ     | <b>ウ</b> | 猛暑 |
| 4 | <b>ア</b> | エルニーニョ | <b>イ</b> | サンマ     | <b>ウ</b> | 冷夏 |
| 5 | <b>ア</b> | ラニーニャ  | <b>イ</b> | カタクチイワシ | <b>ウ</b> | 猛暑 |
| 6 | <b>ア</b> | ラニーニャ  | <b>イ</b> | カタクチイワシ | <b>ウ</b> | 冷夏 |
| 7 | <b>ア</b> | ラニーニャ  | <b>イ</b> | サンマ     | <b>ウ</b> | 猛暑 |
| 8 | <b>ア</b> | ラニーニャ  | <b>イ</b> | サンマ     | <b>ウ</b> | 冷夏 |

[問 2] 次の記述は、水産資源を育成し、持続的に利用する方法に関するものである。記述中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の **1** ~ **4** のうちのどれか。解答番号は **4**。

保育場や産卵場を保護するための対応として、漁業法に基づいて禁漁区や禁漁期を設置して保育場や産卵場を保護する方法と、 **ア** で定義される **イ** を設置して保護する方法がある。 **イ** は指定水域内を禁漁とすることに加え、その水域が保育場や産卵場として機能しているかに関する調査と、その機能を維持することが義務付けられている。

- |   |          |                     |          |      |
|---|----------|---------------------|----------|------|
| 1 | <b>ア</b> | 海洋生物資源の保存及び管理に関する法律 | <b>イ</b> | 人工魚礁 |
| 2 | <b>ア</b> | 海洋生物資源の保存及び管理に関する法律 | <b>イ</b> | 保護水面 |
| 3 | <b>ア</b> | 水産資源保護法             | <b>イ</b> | 人工魚礁 |
| 4 | <b>ア</b> | 水産資源保護法             | <b>イ</b> | 保護水面 |

[問 3] 里海に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 里海は、1998年に提唱され、その後「経済構造の変革と創造のための行動計画」に組み込まれることで広く認知されるに至った。
- 2 里海は、沿岸域で人の手を加えることなく、陸域を含めた生態系における生物多様性や生産性を高め、環境の保全を図ろうとする概念のことである。
- 3 環境省は、2011年に発行した「里海づくりの手引書」において、里海の保全と再生を支える要素として、「物質循環」、「生態系」、「ふれあい」の三つを示した。
- 4 環境省は、2011年に発行した「里海づくりの手引書」において、里海づくりの実践を支える要素の一つである「活動の場」として、藻場や干潟を例示した。

[問 4] 「令和2年度水産白書」（水産庁 令和3年6月）に示されている国内外の食の安全や持続可能な漁業・養殖業への意識の高まりに関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 米国や中国は、輸入食品に対してもHACCPの実施を義務付けているため、我が国からこれらの国に水産物を輸出する際には、我が国の水産加工施設等が、輸出先国から求められているHACCPを実施し、更に施設基準に適合していることが必要である。
- 2 平成27年、国連では、令和12年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGsが採択された。このうち、水産業に関連する目標としては、「14.海の豊かさを守ろう」が定められている。
- 3 世界には様々な水産エコラベルが存在し、それぞれの水産エコラベルごとに運営主体が存在する。日本国内では、主に、MEL、MSY、ASC等の水産エコラベル認証が主に活用されており、それぞれによる漁業と養殖業の認証実績がある。
- 4 水産エコラベルは、WTO水産委員会が採択した水産エコラベルガイドラインに沿った取組に対する認証を指すことが基本であるが、その信頼性確保と普及改善を図るため、世界水産物持続可能性イニシアチブが平成25年に設立された。

[問 5] 次の海水中の主要な塩類ア～エについて、海水に含まれる塩類の組成比の高いものから順に並べたものとして適切なものは、下の1～8のうちのどれか。解答番号は 。

ア 塩化カルシウム

イ 塩化マグネシウム

ウ 硫酸ナトリウム

エ 塩化ナトリウム

1 イ → ア → ウ → エ

2 イ → ア → エ → ウ

3 イ → ウ → ア → エ

4 イ → ウ → エ → ア

5 エ → ア → イ → ウ

6 エ → ア → ウ → イ

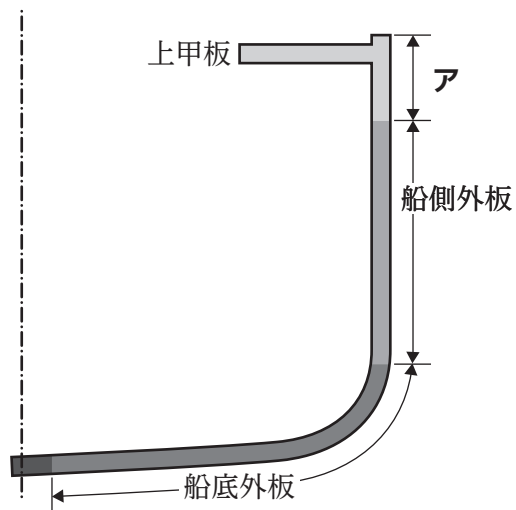
7 エ → イ → ア → ウ

8 エ → イ → ウ → ア

3 運用に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の図は、鋼船の船体構造の横断面の一部を模式的に表したものである。図中のアの名称として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

図



- 1 実体フロア
- 2 フレーム
- 3 舷側厚板
- 4 マージンプレート

[問 2] ある実習船がA港に入港したときの平均喫水は4.2mで、同港で燃料油を60トン、清水を30トン積載した。この実習船が、A港を出港するときの平均喫水は  [m] である。ただし、毎cm排水トン数は4.5トンであり、停泊中の燃料油及び清水等の消費は考慮しないものとする。また、燃料油等の積載後も毎cm排水トン数は変わらないものとする。

[問 3] 直径16mmで係数0.9のナイロンロープの安全使用力は  [トン] である。ただし、安全使用力は破断力の6分の1とする。

[問 4] 次の記述**ア～オ**は、航海当直基準に示された当直の引継ぎを受ける職員が確認する事項である。**ア～オ**のうち、航行中における甲板部の当直基準を選んだ組合せとして適切なものは、下の**1～0**のうちのどれか。解答番号は  。

- ア** ビルジ等の状態
- イ** 予定する進路
- ウ** 主機及び補機の状態
- エ** 船内にある者の数
- オ** 付近にある船舶の位置及び動向

- 1** **ア・イ**
- 2** **ア・ウ**
- 3** **ア・エ**
- 4** **ア・オ**
- 5** **イ・ウ**
- 6** **イ・エ**
- 7** **イ・オ**
- 8** **ウ・エ**
- 9** **ウ・オ**
- 0** **エ・オ**

[問 5] 自船における人命救助の方法に関する記述として適切なものは、次の**1～4**のうちのどれか。解答番号は  。

- 1** シングルターンは、いずれか一方に転舵して急旋回し、240度回頭したところで反対舷に舵角一杯にとり、原針路と反方位の針路にして減速し停止する操船法である。
- 2** ダブルターンは、転落者の舷へ舵角一杯にとり、急旋回して転落者に向け、停止する操船法である。
- 3** ウイリアムソンターンは、転落者の舷に舵角一杯にとり、原針路から60～90度回頭したとき、反対舷に舵角一杯にきり返しを行い、船を原針路線上に戻し、減速し停止する操船法である。
- 4** シャーナウターンは、転落者の舷へ一杯に転舵し、180度回頭したところで定針し減速する。次に、転落者を見ながら正横後30度に見るころから再び180度回頭させ、減速しながら元の針路にして停止する操船法である。



[問 6] 錨泊中の船舶の走錨に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 錨鎖がたるんだり張ったりしている状態のこと。
- 2 船体が錨を中心として大きく振れ回っている状態のこと。
- 3 正横付近にある物標のトランジットの変化が見られない状態のこと。
- 4 船首が左右に振れなくなり、片舷からのみ風を受けている状態のこと。

**4** 航海・計器に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 沿岸航行中の A 丸は、10:00 に L 灯台を真方位 055 度に測定し、その後真方位で針路 010 度、速力 10 ノットで航行を続け、11:00 に L 灯台を真方位 100 度に測定した。この間、A 丸は流向（真方位）160 度、流速 2 ノットの潮流の影響を受けた。A 丸の L 灯台からの正横距離として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **16**。

- 1  $9 - \sqrt{3}$  海里
- 2  $9 - \sqrt{2}$  海里
- 3  $10 - \sqrt{3}$  海里
- 4  $10 - \sqrt{2}$  海里

[問 2] ジャイロコンパスの誤差に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **17**。

- 1 緯度誤差は、スペリー系のジャイロコンパスにおいて、制振装置を起因として生じ、緯度が高くなるにつれて誤差は小さくなる。
- 2 速度誤差は、船舶が地球の自転方向に航行することを起因として生じ、船舶の針路や速力、緯度により誤差の大きさが異なる。
- 3 動揺誤差は、船体の動揺による加速度や遠心力の影響を起因として生じ、針路が四方位点にあってローリングしたときに誤差は最大となる。
- 4 変速度誤差は、船舶の速力や針路を変えたことを起因として生じ、新しい速度や針路に応じた誤差に変化するまでの間に発生する一時的な不定誤差である。

[問 3] 船舶自動識別システムの送信情報に含まれるものとして適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **18**。

- 1 乗員数
- 2 水深
- 3 船舶電話番号
- 4 目的地

5

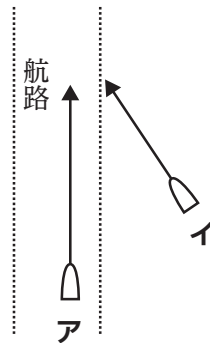
法規に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 船舶が霧中航行中、自船の正横より前方に他船の霧中信号を聞き、これと衝突する恐れがあるとき、直ちにとらなければならない動作として、海上衝突予防法に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 19。

- 1 速力を、針路を保つことができる最小限度の速力に減じなければならない。
- 2 針路を右に転じている場合は、短音を2回鳴らさなければならない。
- 3 レーダーで自船の正横より右前方に確認した場合は、針路を左に転じなければならない。
- 4 直ちに急速に短音を5回以上鳴らすことにより汽笛信号を行わなければならない。

[問 2] 次の図は、港則法に定める特定港内において、総トン数1100トンの動力船アと総トン数50000トンの動力船イが矢印の示す方向に航行している様子を模式的に表したものである。航路をこれに沿って航行する動力船アと、動力船アが航行する航路に入ろうとする動力船イとが衝突するおそれがあるとき、ア及びイのそれぞれの航法に関する記述として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 20。

図



- 1 アはイに対して避航動作をとり、イはそのまま航行する。
- 2 アはイと並列して航行できるように航路の左側に寄り、イは航路の右側を航行する。
- 3 アはそのまま航行し、イはアに対し避航動作をとる。
- 4 アはそのまま航行し、イは航路に入らず、航路の直ぐ横を航行する。

[問 3] 次の記述は、海上交通安全法第23条に関するものである。記述中の下線部に含まれる船舶として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。解答番号は 21。

海上保安庁長官は、巨大船等の航路における航行に伴い生ずるおそれのある船舶交通の危険を防止するため必要があると認めるときは、当該巨大船等の船長に対し、国土交通省令で定めるところにより、航行予定時刻の変更、進路を警戒する船舶の配備その他当該巨大船等の運航に関し必要な事項を指示することができることとされている。

- 1 運転不自由船
- 2 危険物積載船
- 3 操縦性能制限船
- 4 漁ろうに従事している船舶

6 海洋に関連した条約に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述ア～エのうち、海洋法に関する国際連合条約において、沿岸国が領海における無害通航に係る法令を制定することができるものとされているものを選んだ組合せとして適切なものは、下の1～6のうちのどれか。解答番号は  。

ア 海洋の科学的調査及び水路測量

イ 電線及びパイプラインの保護

ウ 航空機の発着又は積込み

エ 漁獲活動

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 2] 次の記述は、POPs条約の目的に関するものである。記述中の空欄  ～ に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の1～6のうちのどれか。解答番号は  。

2001年に、環境及び開発に関する  宣言の原則15に規定する  的な取組方法に留意して、 から人の健康及び環境を保護することを目的としてストックホルムで採択された。

- |   |   |    |   |    |   |            |
|---|---|----|---|----|---|------------|
| 1 | ア | パリ | イ | 対処 | ウ | 残留性有機汚染物質  |
| 2 | ア | パリ | イ | 対処 | ウ | マイクロプラスチック |
| 3 | ア | パリ | イ | 予防 | ウ | 残留性有機汚染物質  |
| 4 | ア | リオ | イ | 対処 | ウ | 残留性有機汚染物質  |
| 5 | ア | リオ | イ | 対処 | ウ | マイクロプラスチック |
| 6 | ア | リオ | イ | 予防 | ウ | 残留性有機汚染物質  |

**7** 海洋生物に関する次の各問に答えよ。

[問 1] サケ科魚類に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は **24**。

- 1 サケ科魚類の生活は、川で孵化した稚魚が海へ下って成長し、産卵のために川へ戻る遡河回遊型である。
- 2 サケ科魚類の卵は、浮性卵で、雌が川底の砂礫を掘って産卵床をつくり、その場で産卵する。
- 3 サケ科魚類に共通した形態の一つとして、背鰭と尾鰭の中間に位置する<sup>きじょう きまく</sup>鰭条と鰭膜が区別できない肉質の<sup>しょうり き</sup>鰭である小離鰭をもつことがある。
- 4 サケ科魚類のうち、秋田県田沢湖のヒメマスは、絶滅したと考えられていたが、2010年、移入先である山梨県西湖で発見された。

[問 2] 次の記述は、ウニに関するものである。記述中の空欄 **ア** ～ **ウ** に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の1～8のうちのどれか。解答番号は **25**。

ウミユリ綱、クモヒトデ綱、ヒトデ綱、ナマコ綱とともに **ア** 動物門を構成する。体は **イ** 相称で、頭部はなく、体節構造も欠く。体軸は、下面が口側、上面又は殻の辺縁が肛門側にある。体を動かす際は、先端が吸盤状の **ウ** を使う。

- |   |             |              |             |
|---|-------------|--------------|-------------|
| 1 | <b>ア</b> 棘皮 | <b>イ</b> 五放射 | <b>ウ</b> 管足 |
| 2 | <b>ア</b> 棘皮 | <b>イ</b> 五放射 | <b>ウ</b> 腹足 |
| 3 | <b>ア</b> 棘皮 | <b>イ</b> 六放射 | <b>ウ</b> 管足 |
| 4 | <b>ア</b> 棘皮 | <b>イ</b> 六放射 | <b>ウ</b> 腹足 |
| 5 | <b>ア</b> 刺胞 | <b>イ</b> 五放射 | <b>ウ</b> 管足 |
| 6 | <b>ア</b> 刺胞 | <b>イ</b> 五放射 | <b>ウ</b> 腹足 |
| 7 | <b>ア</b> 刺胞 | <b>イ</b> 六放射 | <b>ウ</b> 管足 |
| 8 | <b>ア</b> 刺胞 | <b>イ</b> 六放射 | <b>ウ</b> 腹足 |

**8** ダイビングに関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述ア・イは、潜水による障害に関するものである。記述中の空欄  ・  
 に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答  
 番号は  。

**ア** 水深30mを超えて潜降し、 の分圧が高くなると、麻酔作用を及ぼし、アルコールを飲んだときと同様の状態になる。

**イ** 人間は、 の分圧が0.17～0.20MPaの空気を呼吸すると、吐き気やけいれん発作を起こす。

	A	B
<b>1</b>	酸素	窒素
<b>2</b>	酸素	二酸化炭素
<b>3</b>	窒素	酸素
<b>4</b>	窒素	二酸化炭素
<b>5</b>	二酸化炭素	酸素
<b>6</b>	二酸化炭素	窒素

[問 2] 潜水事故とその予防の方法に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は  。

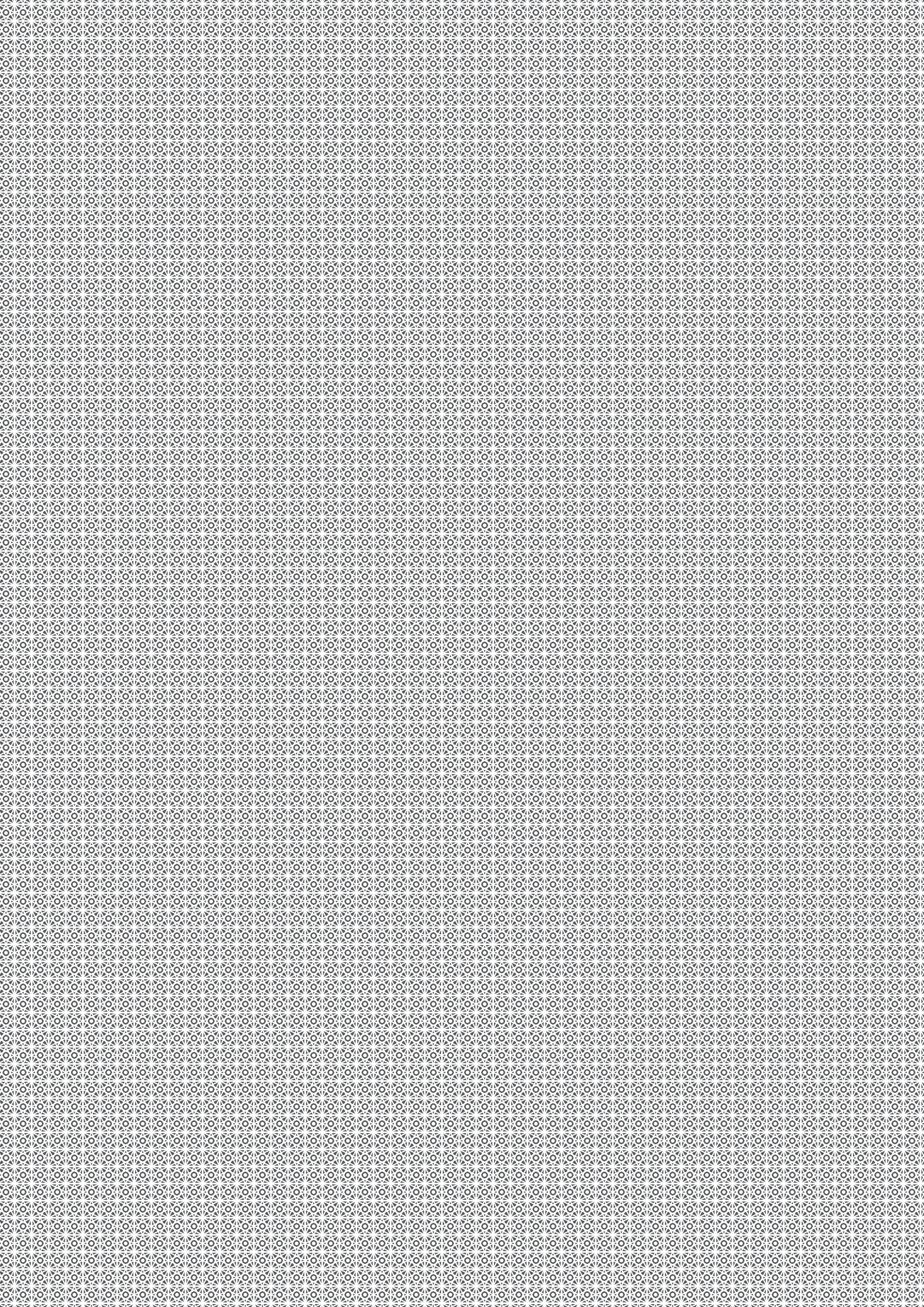
- 1 潜水墜落は、浮力が加速度的に小さくなり一気に海底まで沈んでしまうことであり、その原因の一つとして、ヘッドファースト姿勢での逆立ちが挙げられる。体を横にするときは、必要以上に潜水服を膨らませないことによって事故を防ぐことができる。
- 2 水中拘束は、水中で身動きができなくなってしまうことであり、その原因の一つとして、重量物の下敷きが挙げられる。潜水時、障害物を越す際、障害物の周囲を回ったり下を潜り抜けたりしないことで事故を防ぐことができる。
- 3 吹き上げは、浮力が加速度的に大きくなり一気に水面まで浮上してしまうことであり、その原因の一つとして、ボンベの空気の使い切りが挙げられる。潜水前に器具の十分な整備や点検を行うことによって事故を防ぐことができる。
- 4 溺水は、気道や肺に水が入り窒息状態になることであり、その原因の一つとして、潜降索の不使用が挙げられる。潜降や浮上の際、必ず潜降索を使用することで事故を防ぐことができる。











3 問題文中の  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  などの  $\boxed{\quad}$  には、数字又は符号 (-) が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1)  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号(-)のいずれか一つに対応します。それらを  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$  に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$  に  $-\frac{4}{5}$  と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$  として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$  に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

問題番号		解答 番号	正答	配点	備考
大問	小問				
1	問1	1	3	4	
	問2	2	1	4	
2	問1	3	2	4	
	問2	4	4	4	
	問3	5	3	4	
	問4	6	2	4	
	問5	7	8	4	
3	問1	8	3	4	
	問2	9	4	4	完全解答
		10	4		
	問3	11	0	4	完全解答
		12	6		
	問4	13	7	4	
	問5	14	3	4	
問6	15	4	4		
4	問1	16	1	4	
	問2	17	4	4	
	問3	18	4	4	
5	問1	19	1	4	
	問2	20	3	4	
	問3	21	2	4	
6	問1	22	1	4	
	問2	23	6	4	
7	問1	24	1	4	
	問2	25	1	4	
8	問1	26	3	4	
	問2	27	2	4	